

## シグマ研究委員会 昭和 57 年度第 3 回運営委員会議事録

日 時 昭和 57 年 9 月 3 日 (金) 13:30 ~ 17:30  
場 所 原研本部第 7 会議室  
出席者 原田 (委員長, 原研),  
白方 (動燃), 中嶋 (法大), 五十嵐, 田中, 松浦 (原研)  
オブザーバ: 村田 (NAIG), 松本, 浅見 (原研)

### 配布資料

1. 前回 (57. 7. 13) 議事録 (案)
2. シグマ研究委員会の構成
3. Draft Agenda 23rd Meeting of NEANDC
4. 中性子核データ研究者の構成の調査結果
5. 82 核データ研究会プログラム (案)
6. 「第 21 回原子力総合シンポジウム」提案テーマ (案)
7. JENDL-2 格納核種表 (82-09-02 現在)
8. Proposal for a Second Phase Joint Programme on Neutron Data Evaluation
9. 共通評価済み核データファイル (JEF) の Second Phase Programme への対応について

### 議 事

1. 前回議事録確認  
資料 1 により確認を行った。
2. 事務局報告
  - (1) 本年度の Progress Report が出来上った。
  - (2) CINDA 82 を配布した。
  - (3) 核データニュース No. 18 の発行
  - (4) NEANDC 第 23 回会合の紹介 (資料 3)
  - (5) 資料 2 の紹介

### 3. 特殊目的核データの ad-hoc 小委員会経過報告

浅見氏から、この ad-hoc 小委員会のその後の作業状況について報告があった。現在、答申書の文案の検討及び資料作成の作業を進めており、次回の運営委員会に答申書を提出する予定である。

### 4. 諮問・調整委員会第1回会合報告

諮問・調整委員会の第1回会合が8月30日に行われ、同委員会の委員長に相山氏（東北大）が選出されたことが報告された。相山氏が本日欠席のため、当日の会合の概要について浅見氏から議事録のメモが紹介された。また、五十嵐氏、田中氏から補足の説明があった。

### 5. 中性子核データ研究者の構成の調査

五十嵐氏から、資料4にもとづき、アンケート調査の結果について説明があった。

### 6. 82核データ研究会プログラム案の検討

村田氏からプログラム案（資料5）について説明があり、討議を行った。その結果、○パネル討論を2つやるのは無理で、1件は来年廻しにしたらどうか、○JENDL-3の話にもっと時間をかけた方が良い等の意見があり、パネル討論のB（国際関係）は割愛する方向で、また10分講演は止めることで9月6日のプログラム委で再検討することにした。

### 7. 原子力総合シンポジウム

五十嵐氏から、資料6をもとに過去3年のテーマ及び提案テーマ案について説明があり討議を行った。その中で、廃炉の問題を採り挙げたらどうかとの意見が出た。

### 8. 医学用原子分子・原子核データWGの活動方針

中嶋氏から、8月30日に行われた第1回会合の概要について説明があった。その中で、基礎的データを評価してデータブックを作成する計画のあることが紹介された。

### 9. JENDL-2及びJENDL-3の進行状況

浅見氏から、資料7をもとにJENDL-2の編集作業の現状について説明があった。また、JENDL-3の評価・編集作業のスケジュールや分担を明確にするため、核データ専門部会内の各WGと連絡をとって分担表を近く作成したいとの説明があった。これに対して、○分担の縦割りと横割りとをうまく調整する必要がある。○日程を明確にする必要がある。○JNDCのFP yield dataをファイル1に入れることを検討したらどうか等の指摘があった。

なお、JENDL-2に関連して、次回にはJENDL-2 FP核データのファイル化の進行状況について報告してもらうことにした。

10. JEF-IIへの対応

五十嵐氏から、資料8にもとづき、JEFのphase Iの作業からphase IIへ進む経緯、それぞれの内容等について説明があった。また、資料9によりphase IIへの対応についての考え方の説明があり、この考え方をもとに運営委の討論などを踏まえて原子力局に説明したことが報告された。

次回は10月21日(木) 13:00から東海研で行う予定